子育て情報（園長先生の子育てひろば）

令和２年７月
椙山女学園大学附属幼稚園

雨の音

園長　山中　文

子どもの曲に「雨」という曲があります。最近、幼稚園の登園時間によくかかっている曲です。

雨　作詞：椙山米子、作曲：小松耕輔

あめがあめがふっている　きいてごらんよ　音がする
ぴちぴちぱしゃぱしゃ　音がする
ほらお池にふっている　金魚はどうしているかしら

あめがあめがふっている　きいてごらんよ　音がする
ぽつぽつぽつぽつ　音がする
ほらやつでにふっている　晴れたらはっぱが光るだろう

雨が降っている景色を直接示さず、まず音に着目して、そこから音がしたところに思いを馳せるという点でちょっと珍しい歌かなと思います。池に降る雨音とやつでに落ちる雨音を変えているところもにくいですね。

雨音はいったいいくつぐらいあらわされているでしょう。

ぴちぴち、ぱしゃぱしゃ、ぽつぽつ、ぽつりぽつり、しとしと、ぱらぱら、ざあざあ、さーさー、ぽたりぽたり、しょぼしょぼ・・・

どの雨音からも、降っている雨の感じや景色が想像されます。それでも子どもに聞いてみると、もっと面白い雨音表現が返ってきます。べしゃべしゃ、しゃあしゃあ、ばあーん、しょしょしょしょしょなど、耳を澄ませて一生懸命考えてくれます。

音で表すと、イメージをふくらませたり共有したりすることができ、そのことでコミュニケーションや会話が楽しさをともなって広がっていくように思います。雨が多いこの頃です。ぜひいろんな雨音をご一緒にお楽しみください。

5歳の子どもがザリガニをつかまえて「ザキンザキン」と名前をつけていたところに出くわしたことがあります。「だって、ハサミ、大きいもん」ということでした。擬態語をそのまま名前に使うユニークな発想には、大人も顔負けですよ！